



第71期定時株主総会



株式会社 カワニシホールディングス

(証券コード：2689)



2020年6月期 連結業績

	百万円	修正予算比	当初予算比	前期比
売上高	107,896	△2.4%	△2.4%	0.4%
売上総利益	11,067	△4.3%	△5.1%	△0.6%
売上総利益率	10.26%	△0.20	△0.29	△0.11
販売管理費	10,140	△4.9%	△2.5%	3.1%
営業利益	927	3.0%	△26.1%	△28.8%
経常利益	905	△0.6%	△28.4%	△30.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	326	7.4%	△61.0%	△57.9%

※予算比・前期比の%は増減

- 輸入販売事業の貸倒引当繰入 3億53百万円
- 子会社支店の移転予定により
不動産減損の特別損失 1億91百万円

1株当たり当期純利益
56.76円

事業活動縮小

実証試験（2016～2020年）の最終段階

当初想定していた検査性能が出せず、
今後の事業活動の継続が難しいと判断

- イスラエルVOCs社とエクソーラメディカルとの契約は継続

第4四半期（4～6月）は**手術・検査件数の減少**

①急性期病院が**感染病床を確保**するために**手術を抑制**

主に、整形人工関節置換・循環器カテーテル治療

②感染不安から

クリニックで**患者の受診控え**

クリニックから急性期病院への**手術患者の紹介減少**



売上高の影響 約△**19億円**と試算

手術件数は徐々に回復を見込むが、感染状況しだい



2021年6月期 連結予算(見通し)

	百万円	前期比
売上高	114,114	5.8%
売上総利益	11,672	5.5%
売上総利益率	10.23%	△0.03
販売管理費	10,232	0.9%
営業利益	1,440	55.3%
経常利益	1,441	59.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	931	185.3%

※前期比の%は増減

新型コロナによる影響は、徐々に
解消されることを前提に目標設定

1株当たり当期純利益
153.11円

中期経営計画 の注力ポイント (2021/6期～2023/6期)

医療器材事業全体での
仕入交渉力強化

管理系業務の
合理化・効率化

整形の高シェアを活かした
業務プロセス再構築

新規事業

カワニシバークメド

ASEANリサーチ 医工連携

営業活動のDX

電子カタログ充実

e-commerce オンライン営業

インサイドセールス拡充

顧客提供価値の最大化

たゆまない生産性向上

売上安定成長によるエリア内シェア拡大

社員憲章の共有による一体感・事業への共感

2023/6期目標

売上高 **1200** 億円

営業利益 **19** 億円